

# 「イスラム国」人質事件の本質に迫る —日本を「戦争できる国」にしないために

痛ましい結果となった過激組織「イスラム国」による邦人人質事件。インターネットを通して声明と映像が届き、緊張の数日が続いた後、人々の願いもむなしく大切な命が奪われてしまいました。

安倍首相は「テロリストたちを絶対に許さない。その罪を償わせる」と表明し、海外では「イスラム国」への「復讐」を誓ったと報道されています。

今回の事件の背景には何があったのか、現地の状況をどれほど私たちは理解していたのか・・・

積極的な取材活動も行い、中東の情勢に詳しいフリージャーナリストの志葉 玲さんをお招きして学習会を開催します。

このような事件が再び起きないように、これからの日本の進むべき道、私たちがすべき中東の平和への貢献について考えたいと思います。

**と き** 2015年3月12日(木) 19時

〔開場18時30分／終了予定20時30分〕

**ところ** エルおおさか南館5階ホール

**参加費** 無料 どなたでもご自由にご参加できます



撮影：志葉 玲さん

## 志葉 玲さんのプロフィール

1975年東京生まれ。大学卒業後、番組制作会社を経て、2002年春から環境（原発問題含む）平和、人権をテーマにフリーランスジャーナリストとしての活動を開始する。2010年11月より、イラク戦争の検証を求めるネットワーク事務局長。2003年のイラク戦争で、3月22日から4月6日まで、バグダッド南部のドーラ浄水場に「人間の盾」として滞在しながら民間人の空爆被害を取材。2003年6月のイラク取材では、同国中西部ラマディにて米軍に不当拘束され、捕虜収容所に8日間拘禁される。2004年2～3月、5～7月には、バグダッド、サマワ、ファルージャなどを取材。頻発する自爆攻撃や、米軍の「テロ掃討作戦」によるイラク市民の被害、自衛隊の活動などについて取材した。

著書に『たたかう！ジャーナリスト宣言--ボクの見た本当の戦争』（社会批評社）『「イラク戦争」検証と展望』（岩波書店）など  
ウェブサイト / <http://reishiva.jp/>

主催：大阪府関連労働組合連合会（府職労・大教組）

○連絡先 大阪府関係職員労働組合

06-6941-3079

[info@fusyokuro.gr.jp](mailto:info@fusyokuro.gr.jp)